3.1.2　水象、水質、水底の底質その他の水に係る環境の状況

(1) 水象の状況

1) 海域

対象事業実施区域の前面海域は、東側は関門海峡、北側は洞海湾の湾口部にあたる。

また、北九州市の海岸線は、総延長約 200km と全国の自治体の中でも有数の長さを有し、臨海部の低地は埋立地、干拓地等の人工造成地が大半を占めている。

2) 潮位

対象事業実施区域の周辺海域における潮位観測所としては、対象事業実施区域の東側の関門海峡上に日明検潮所、対象事業実施区域から洞海湾を挟んだ場所に響灘検潮所がある。潮位観測所の位置は図 3.1-16 のとおりである。また、潮位観測所における潮位は、図 3.1-17 のとおりである。

凡 例

対象事業実施区域

潮位観測所の位置

N

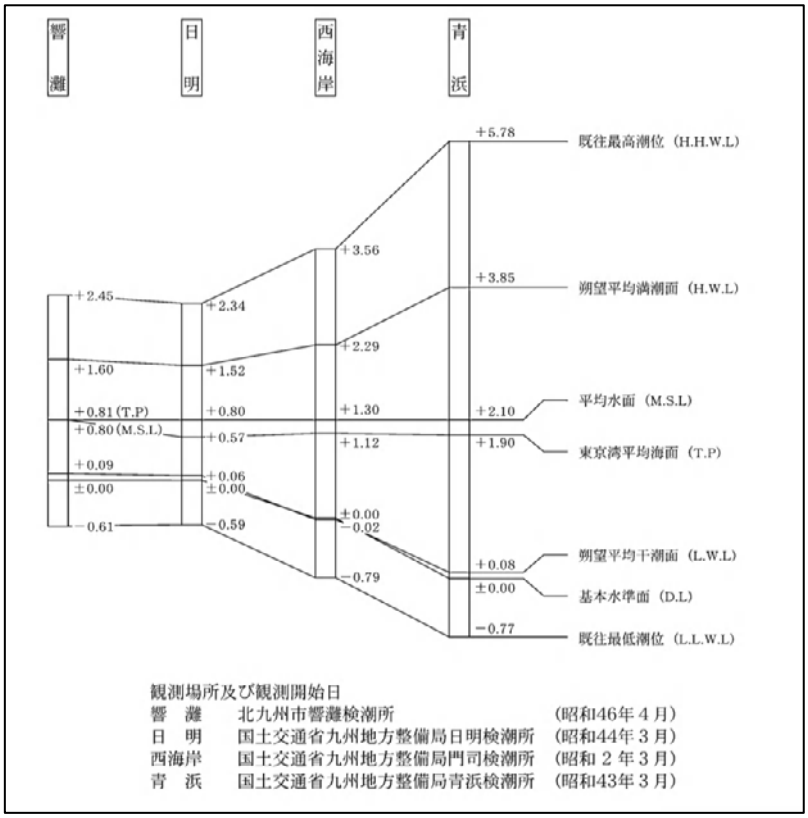
1:60,000

0 0.5 1 1.5 2km

「北九州港港湾計画図（令和８年３月末時点）」
（北九州市港湾空港局、令和８年）
より作成

注：図には日明検潮所及び響灘検潮所のみを示す。

図 3.1-16　対象事業実施区域周辺の潮位観測所位置図



出典：「北九州港港湾計画図（令和８年３月末時点）」（北九州市港湾空港局、令和８年）

図 3.1-17　対象事業実施区域周辺における潮位

3) 流況

対象事業実施区域の周辺海域における平均大潮期の流況図は図 3.1-18、恒流図は図 3.1-19 のとおりである。潮流調査の概要は表 3.1-34 のとおりである。

対象事業実施区域の前面海域における潮流は、上げ潮最強時で表層が 49.6cm/s、下層が 54.1cm/s、下げ潮最強時で表層が 42.7cm/s、下層が 49.5cm/s となっている。流向は、沿岸に沿った往復流となっている。

恒流は、表層が 4.3cm/s、下層が 2.9cm/s の流れとなっている。

表 3.1-34　潮流調査の概要

調査機関	国土交通省九州地方整備局関門航路事務所
観測期間	夏季：平成 21 年 9 月 15 日～9 月 30 日（15 昼夜）
調査地点	2 地点（対象事業実施区域の周辺海域に 1 地点）
調査層	2 層（表層：海面下 1m、下層：海底面上 1m）

「北九州港港湾計画資料（その 2）-改訂-」（北九州港港湾管理者 北九州市、令和 5 年 12 月）　より作成

「北九州港港湾計画資料（その 2）-改訂-」（北九州港港湾管理者 北九州市、令和 5 年 12 月）

より作成

図 3.1-18（1） 平均大潮期の流況図（夏季・上げ潮最強時）

「北九州港港湾計画資料（その 2）-改訂-」（北九州港港湾管理者 北九州市、令和 5 年 12 月）

より作成

図 3.1-18（2） 平均大潮期の流況図（夏季・下げ潮最強時）

「北九州港港湾計画資料（その 2）-改訂-」（北九州港港湾管理者 北九州市、令和 5 年 12 月）

より作成

図 3.1-19 恒流図（夏季）